



プラットフォーム取扱い物件の活用イメージを建築家が紹介 ～対応が長期化している空き家の流通と転入・定住促進を目指します～

生駒市は、建築家が各地域や物件特性に応じて考えた空き家の活用プランを提案するイベントを初開催します。取り扱う物件は、宅建士や建築士など不動産流通の専門家からなる「いこま空き家流通促進プラットフォーム」で対応している3つの物件です。

プラットフォームは、これまで75件の空き家を取り扱い、3割以上を成約に結び付けてきた一方で、成約に至らず対応が長期化する案件も増えつつあります。これらを流通させるためには、単なる価格や敷地面積等のスペックだけではなく、そこで実現できる住まい方や暮らし方などのイメージをターゲット層に届ける工夫が必要です。コロナ禍でテレワークが浸透し、住みたい家や環境が変わりつつあることも好機であると捉えています。

本イベントは、大阪中心部への通勤圏内で住み替えを検討している30～40代や、市内で定住を検討している人をメインターゲットに実施し、空き家の流通と若年層の転入・定住促進を目指します。

- ◇日時 12月13日(日)14:00～16:00
- ◇会場 コワーキングスペース The DECK(堺筋本町駅直結) ※別途、オンライン配信(zoom)も同時開催
- ◇定員 会場は申込先着20人(オンラインは定員なし)
- ◇内容 生駒市のエリアごとの魅力や特徴の紹介、物件紹介と活用イメージの提案
- ◇申込み 12月10日(木)までに、市ホームページの申込フォームから

■ 紹介する物件情報



商売繁盛の神様が祀られる
宝山寺参道沿いの店舗可物件
(敷地:約50㎡、延床約60㎡、
生駒駅徒歩12分)



裏山の森とコンパクトな家が
印象的な路地ハウス
(敷地:約200㎡、延床約70㎡、
生駒駅徒歩14分)



田園風景にたたずむ広大な
敷地のレトロ屋敷
(敷地:約400㎡、延床約200㎡、
白庭駅徒歩14分)

■ プラットホーム設立の経緯 (平成30年5月28日設立)

平成28年度に実施した空き家等実態調査では、本市の空き家率は2.8%でしたが、今後の人口減少や高齢化の進行に伴い、急速に空き家が増加することが予測されます。また、所有者アンケートの結果から、生駒市には活用可能と思われる空き家や活用意向を示す所有者が少なくない一方で、「賃貸、売却をする場合の不動産業者等の情報がほしい」といった支援を求めていることが分かりました。そこで、不動産、建築、法律などの専門家7業種8団体と協定を締結し、市が空き家所有者から同意を得たうえでプラットフォームに情報を提供し、参画事業者が空き家の状況や所有者の意向にあわせて個別の流通支援策を検討・実施するという仕組みを構築しました。